

所属・氏名（ 健康科学部 医療経営学科 氏名：江原 朗 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(学術論文) Ehara A. Routine childhood immunizations in Hiroshima Prefecture, Japan during the COVID-19 pandemic state of emergency 《筆頭論文》	単	2021 年 5 月	広島国際大学医療経営学論叢 2020;14:13-28.	論文全体の概要:広島県内の COVID-19 の流行時の予防接種の実施状況について県内の銀市医師会にアンケート調査を実施した。接種率の低下は認められなかった。 (当該論文のページ数: 16 頁) (当該論文の著者名 江原朗)
2	(学術論文) 江原朗.2020 年上半期における広島県内 23 市町の乳幼児健診および予防接種の実施について—COVID-19 の影響. 《筆頭論文》	単	2021 年 5 月	日本医師会雑誌 2021;150(2):299-304.	論文全体の概要:広島県内の COVID-19 の流行時の乳幼児健診、予防接種の実施状況について県内市町にアンケート調査を実施した。接種率の低下はなかったが、健診受診者が著しく減少した。 (当該論文のページ数:あ6 頁) (当該論文の著者名 江原朗)
3	(学術論文) 江原朗. 新型コロナウイルス感染症流行時に広島県内の休日夜間急患センターを受診した小児の重症度 《筆頭論文》	単	2021 年 1 月	日本医師会雑誌 2021 : 149(10) : 1823-1826.	論文全体の概要:広島県内の COVID-19 の流行時の休日夜間急患センターの利用について県内のセンターにアンケート調査を実施した。利用者数が激減していた。 (当該論文のページ数:4 頁) (当該論文の著者名 江原朗)
4	(学術論文) 江原朗. 市町村間の広域連携による病児対応型保育の提供について 《筆頭論文》	単	2020 年 12 月	日本医師会雑誌 2020 ; 149(9) : 1610-1614.	論文全体の概要:全国の病児対応型保育施設がない市町村で広域連携により住民にこうしたサービスを提供している際の実態調査を行った。財政負担を利用者数で按分していた。 (当該論文のページ数:5 頁) (当該論文の著者名 江原朗)
5	(学術論文) 江原朗. 病児対応型保育施設が未整備である全国 1,222 市町村への実態調査—広域連携の有無、未整備の理由に関する解析 《筆頭論文》	単	2020 年 8 月	日本医師会雑誌 2020 ; 149(5):897-903.	論文全体の概要:全国の病児対応型保育施設がない 1222 市町村にこうした施設がなぜ存在しないかアンケート調査を行った。対象となる乳幼児が少ないこと、予算がないことを挙げているところが多かった。 (当該論文のページ数:7 頁) (当該論文の著者名 江原朗)
8	(学術論文) 江原朗. 病児対応型保育施設の所在と利用に関する全国調査. 《筆頭論文》	単	2020 年 5 月	日本医師会雑誌 2020;149(2):311-317.	論文全体の概要:日本の小児の病対応型児保育施設の利用状況を市町村へのアンケートを用いて明らかにした。 (当該論文のページ数: 7 頁) (当該論文の著者名 江原朗)
9	(学術論文) 江原朗. 各市町村における病児対応型保育定員と一般保育所在者数、小児科医師数、財政指標との関係. 《筆頭論文》	単	2020 年 4 月	厚生 の 指 標 2020;67(4):8-13.	論文全体の概要:日本の小児の病児対応型保育施設の定員と市町村の乳幼児人口、小児科医師数、財政指標等との関連を解析した。 (当該論文のページ数: 6 頁) (当該論文の著者名 江原朗)
10	(学術論文) 江原朗. 市町村における病児対応型保育施設の有無と保育所在者数、小児科医師数、財政指標との関連. 《筆頭論文》	単	2020 年 2 月	日本医師会雑誌 2020;148(11):2225-2231.	論文全体の概要:日本の小児の病児対応型保育施設の有無と市町村の保育所在者数、小児科医師数、財政指標等との関連を解析した。この結果、全国的な偏在(西高東低)が明らかになった。 (当該論文のページ数: 7 頁) (当該論文の著者名 江原朗)